

令和 4 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	松本をもっとよくしようプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学農学部農学生命科学科 2 年
	ふりがな 氏名	よしだゆうか 吉田優香
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学教職支援センター准教授 あらい 英治郎 荒井 英治郎

活動名	地域と若者をつなぐ「学割パスポート」の広報活動
実施時期	2022 年 3 月～2023 年 3 月
実施場所	松本市役所・信州スカイパーク・イオンモール松本
活動内容	<p>松本をもっとよくしようプロジェクト(以下、「まつもっと」)は、2020 年 3 月 1 日より松本市内の協賛店において全国の学生が学生証を提示するだけで特典を受けられるサービス、「学割でおトクにかえるパスポート」通称「学割カエルパ!」事業を開始した。これは、若者を地域ぐるみで応援するサービスであり、松本をもっと好きになってもらいたいという想いや、松本へ来てよかったと思ってもらうことを企図している。</p> <p>「まつもっと」「学割カエルパ!」の PR 活動の一環としては、まず松本市市民活動サポートセンター内にまつもっとの活動パネルである「『まつもっと』の軌跡」の展示、また前年度に作成した最新版の「食べ歩きガイドマップ」の設置を行った。</p> <p>10 月 30 日には、サンプロアルウィンで開催された松本山雅 FC のホームゲームに合わせ、信州スカイパークにて松本市主体のブースが開かれ、地域づくり課のブースにおいて「『まつもっと』の軌跡」の展示を規模を縮小して展示するとともに、松本市や「学割カエルパ!」の情報や協賛店が書かれたチラシを配布し、「学割カエルパ!」の PR を図った。</p> <p>また「学割カエルパ!」の対象学生に高校生も含まれることを踏まえ、高校生向けの PR にも力を入れた。実際には 11 月 13 日にあがたの森公園で実施された松本県ヶ丘高校探究科の生徒による「課題探求発表会」にて、本プロジェクトの教職員責任者である荒井英治郎先生より「学割カエルパ!」のチラシ配布を行った。加えて松本深志高校の方に連絡をした上で実際に高校に伺い、「学割カエルパ!」のポスターを高校内昇降口付近に掲示していただくことになった。</p> <p>12 月 3 日～12 月 18 日にかけてイオンモール松本にて、まつもっとが企画から当日運営までを担当した「学割カエルパ! を使ってみようスタンプラリー」を実施した。この企画の概要としては、期間内にイオンモール内の学割カエルパ! 協賛店にて学割カエルパ! を利用することでイオンモールアプリ内にスタンプが溜まり、学割を利用した 1000 円以上の買い物によってお菓子のつかみ取りに参加できるというものである。お菓子のつかみ取りでは 12 月 17 日、12 月 18 日にイオンモール松本の風庭 1 階 鎌倉パスタ前に企画本部を設置させていただき、まつもっとメンバーが企画参加者と交流しながらつかみ取りの説明や運営を行った。</p> <p>更に今年度は Instagram の運営に強く力を入れ、「学割カエルパ!」協賛店や松本市の魅力あるお店や施設、まつもっとの活動を紹介する投稿を多く行った。「学割カエルパ!」の協賛店の PR としては、前年度に最新版を作成した「食べ歩きガイドマップ」掲載店舗を中心に、おすすめメニューや店舗内の雰囲気等を 10 月中旬～11 月初旬にかけて定期的に投稿した。他にも松本市内で行われている松本城のレーザーマッピングやイルミネーション、1 月 7 日、8 日に行われた松本あめ市の紹介や、弘法山古墳といった松本市の魅力ある場所を実際にメンバーが訪れた上で広報活動を行った。</p>

<p>活動の成果と今後の課題</p>	<p>市民活動サポートセンターや松本山雅のホームゲームでの「学割カエルパ!」の PR 活動やイオンモールでの企画実施、Instagram での広報活動により、松本市内外に住む若者や家族に対して「学割カエルパ!」の認知度を高めることができたと考えている。特に今年度初めて実施したイオンモールでのスタンプラリーイベントでは、イオンモールに訪れていた学割の対象ではない年齢の方々にも、まつもとの活動記録の展示に興味を持っていただけた。このような幅広い年齢の方に「学割カエルパ!」を認知していただくことにより、松本市全体としてより学割が利用しやすい雰囲気づくりや更なる協賛店の拡大が見込まれる。</p> <p>イオンモール松本での企画については、来年度 4 月に第二回の実施を行うことも予定されている。第一回の企画では展示物に足を止めてくれる方は居たものの、実際にスタンプラリーに参加する参加者が予想されていたよりも少ない結果となった。この要因には企画自体の広報が不十分であったこと、スタンプラリーに参加するハードルが高いことが考えられており、第二回では Instagram の投稿や事前のイオンモール内でのポスター掲示、また参加条件の見直しを行う。更に企画の機会を通して「学割カエルパ!」の認知度や対象学生の希望についても調査を行っていく予定である。</p> <p>企画実施による PR については、今年度から「学割カエルパ!」の協賛店であるアルピコグループとの連携企画も検討が進んでいる。こちらも来年度上半期で実施を予定しており、「学割カエルパ!」の PR とアルピコグループの主に宿泊施設への学生客の増加を目的として、現在打ち合わせが行われている。</p> <p>また来年度以降からは、「学割カエルパ!」の広報活動だけではなく、信州大学の他のサークルや学生団体や市民団体、松本市と協力して、これまで以上に幅広い活動を行うことにより、「まつもつと」や「学割カエルパ!」の認知を高めつつ、これまでと違った方法によって松本市のさらなる発展・活性化に貢献していきたい。</p>
--------------------	---

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4 判 4 枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体の PR を行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

【参考資料】

1. 『まつもつと』の軌跡』の展示



2. サンプロアルウィンでの広報活動



3. イオンモール松本でのスタンプラリー企画

